

4 . 指導内容の重視項目について

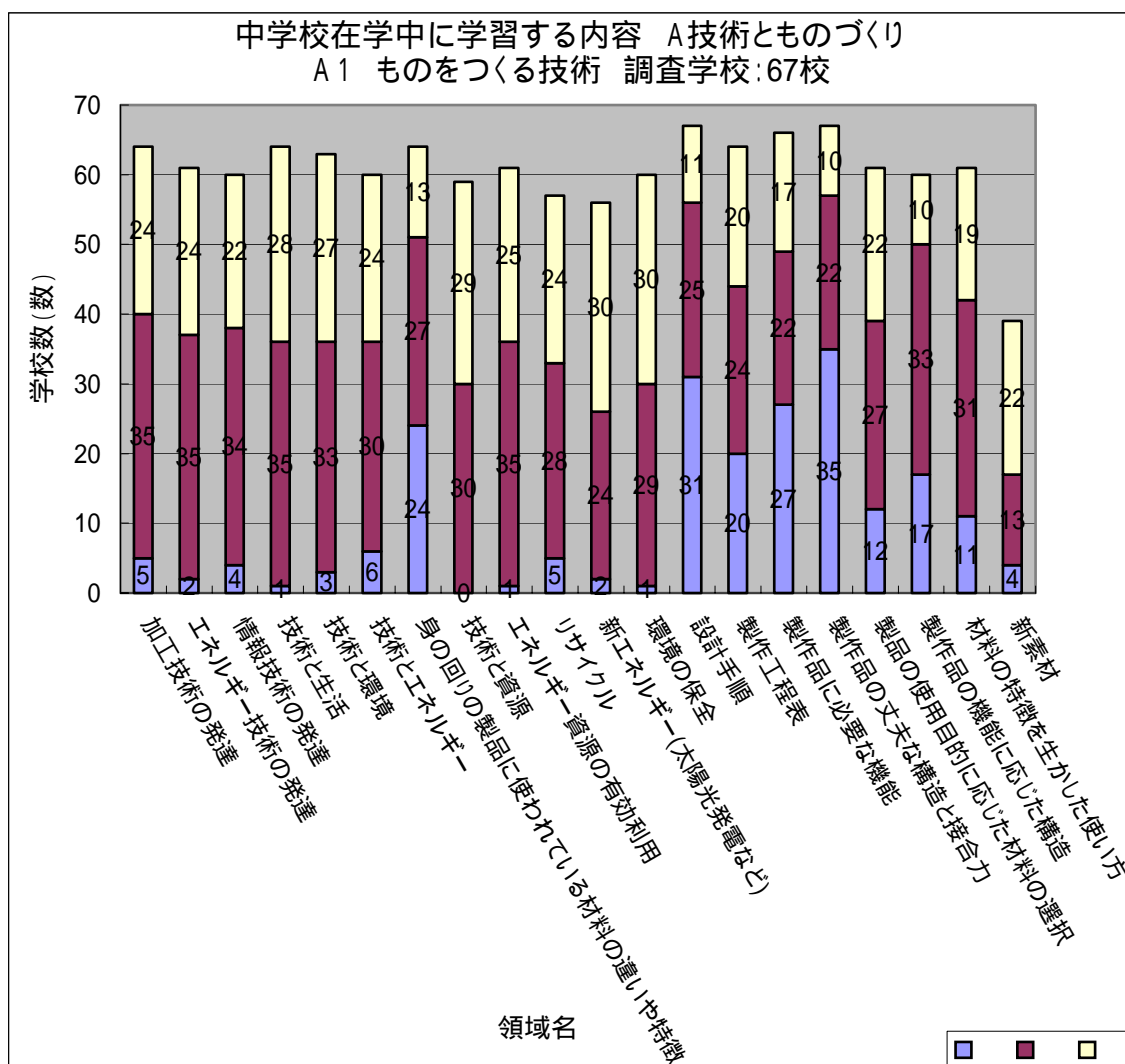
「A1 ものをつくる技術」「A2 材料の使われ方」「A3 構想のまとめ」「A4 製作に使用する機器の仕組み・保守」についての指導内容の項目を教科書や指導要領(解説)から抽出し、それらの項目をどの程度指導したのか、以下に示す基準に基づき印を付してもらって集計を行い、項目ごとの重視程度を判定した。

なお、製作の加工に関する指導内容は、前項の製作題材の加工法や道具・機械と重複するので除いた。

基準

・実践・実験的に実物などを用いて指導している	
・ことば・文字・図・写真やマルチメディアを用いて指導している	
・ことばのみ、又はことばと文字を用い指導している	
・指導していない	×

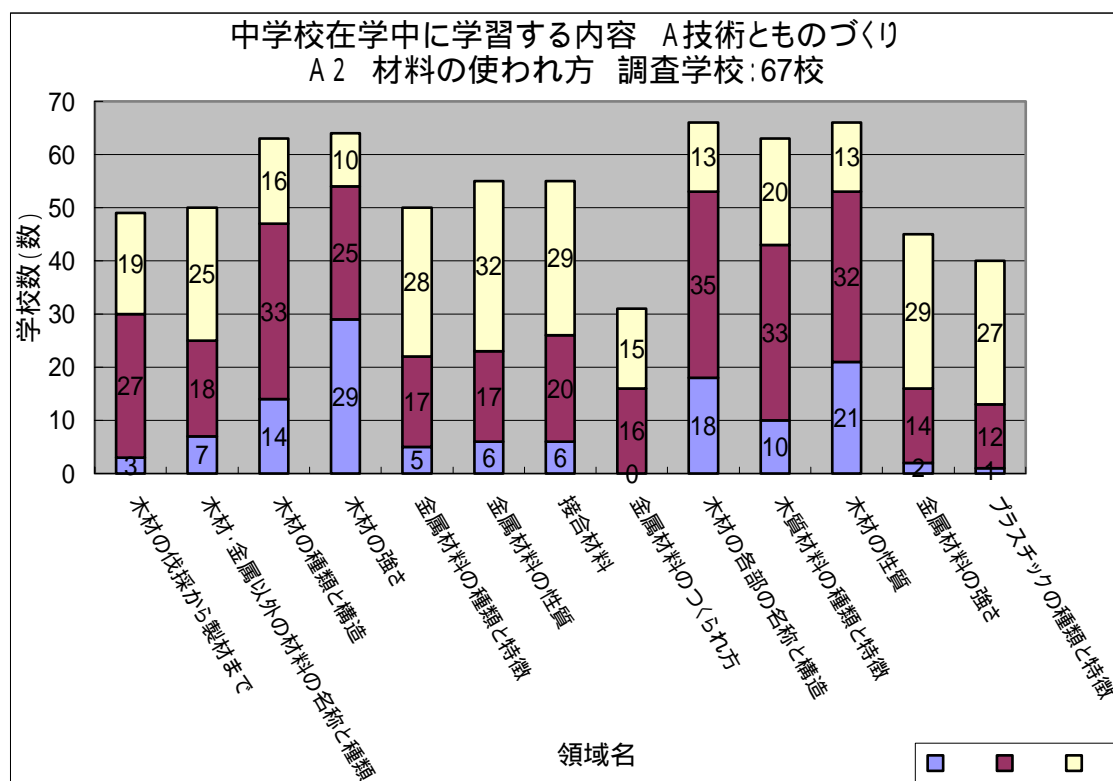
(4.A1.1)



(4.A1.1)

- ・ 50%をボーダーと考えると、すべての項目で超えていた。
- ・ しかし、「新素材」については58%と、やや低い結果となった。
- ・ これらの項目の中で、最も学習されているものをあげると「製作品の丈夫な構造と接着力」、「設計手順」で100%、次いで「設計品に必要な機能」で99%、「製作工程表」、「身の回りの製品で使われている材料の違いや特徴」、「技術と生活」、「加工技術の発達」で96%となった。
- ・ 実験・実践的に指導されていた内容()で50%を超えたのは、「製作品の丈夫な構造と接着力」の35校であった。
- ・ 全体的にみれば、実験・実践的に指導された内容が少ない。

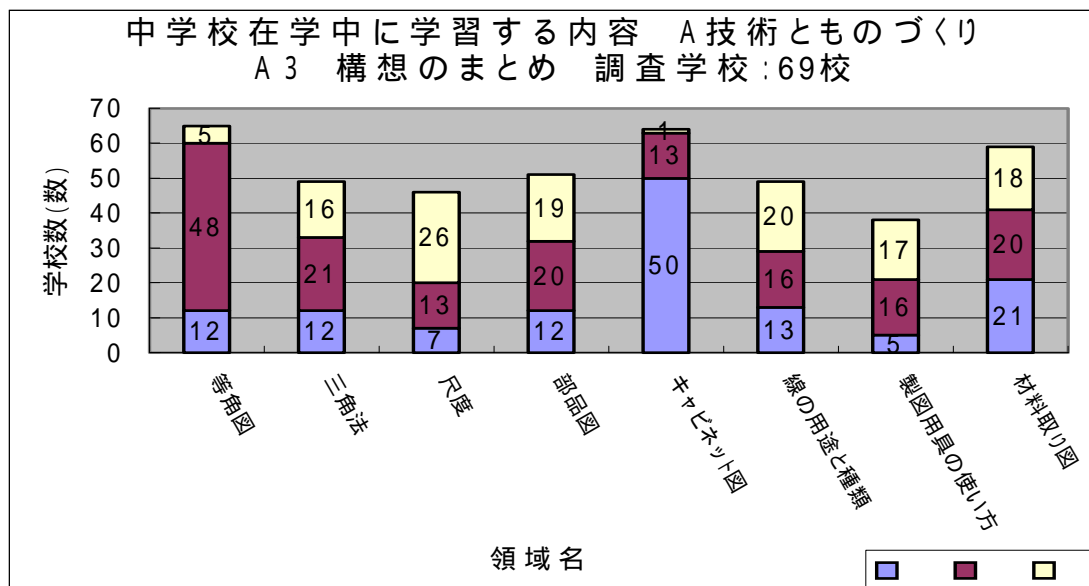
(4.A1.2)



(4.A1.2)

- ・50%をボーダーと考えると、ほとんどの項目で超えていた。
- ・しかし、「金属材料の作られ方」については46%と、50%を切る低い結果となった。
- ・これらの項目の中で、最も学習されているものをあげると「木材の性質」、「木材の各部の名称と性質」で99%、ついで「木材の強さ」で96%、「木質材料の種類と特徴」、「木材の種類と構造」で94%となった。
- ・実験・実践的に指導されていた内容()で比較的高かったのは、「木材の強さ」で、29校(46%)であった。

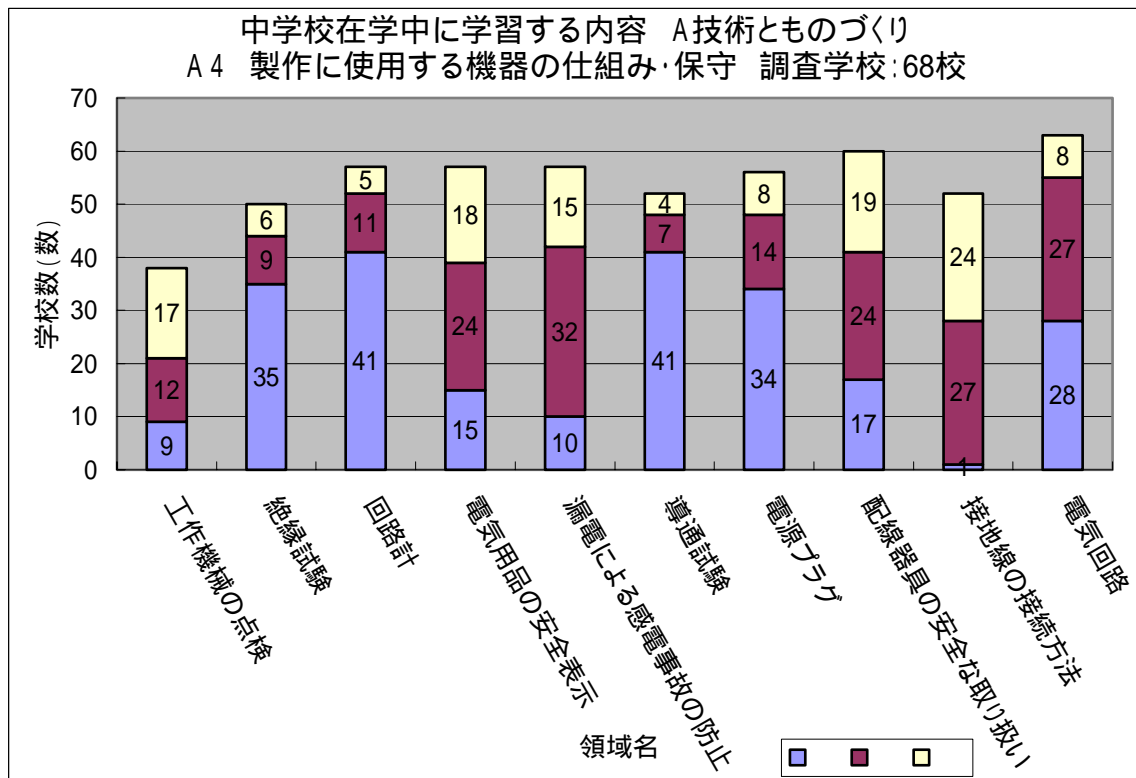
(4.A1.3)



(4.A1.3)

- ・50%をボーダーと考えると、すべての項目で超えていた。
- ・しかし、「製図用具の使い方」については55%とやや低い結果となった。
- ・これらの項目の中で、最も学習されているものをあげると「等角図」で94%、ついで「キャビネット図」で93%、「材料取り図」で86%であった。
- ・実験・実践的に指導されていた内容()で比較的高かったのは、「キャビネット図」の50校(72%)であった。

(4.A1.4)



(4.A1.4)

- ・50%をボーダーと考えると、すべての項目で超えていた。
- ・しかし、「工作機械の点検」については47%とやや低い結果となった。
- ・これらの項目の中で、最も学習されているものをあげると「電気回路」で93%、
ついで「配線器具の安全な取り扱い」で88%、「漏電による感電事故の防止」、
「電気用品の安全表示」、「回路計」で84%であった。
- ・実験・実践的に指導されていた内容()で比較的高かったのは、「回路図」、「導
通試験」の41校(60%)、「絶縁試験」の35校(51%)であった。